

カワセミ食堂

立ち枯れていた小ぶりのシラカシを伐り出し、ウェットランドの浅瀬に横たえました。カワセミの狩り場兼食事場です。

写真の左上にカワセミが止まっているのが分かるでしょうか（手持ちの機材ではこの程度にしか写りません）。ここから付近の水面に、一直線に飛び込み、また一直線にもどって来ます。ただし、大きめの魚が捕れたときは、枝の先っぽではなくもう少し根元よりの、太めのところに止まります。飲み込む前に、魚を枝に叩きつけるためです。



以前はこの場所に、杭が立っていて、カワセミの狩り場になっていました。でも、お食事処にはなっていませんでした。杭が細すぎて、魚を叩きつけることができなかつたからです。魚が捕れたときには、少し離れた排水口のコンクリート枠まで運んでいました。

杭が倒れたのを機に、この倒木に切りかえた次第です。使い心地が良いらしく、杭のときよりも頻繁に利用するようになり、お客様からも好評を博しています。